

## 平成28年度 大阪府立生野高等学校 第3回学校協議会 記録

- 2月22日(水) 17:00～
- 本館 校長室
- 書記 首席

### <出席者>

- 協議員 PTA会長代行、同窓会長、松原地区町会連合会会長  
<欠席>松原市立松原中学校校長、有識者、元保護者
- 学校側 校長、教頭、事務長、首席(2名)、教務主任、進路指導主事、総務部長、自治会部長、  
図書部長

### 1 開会宣言

資料の確認

### 2 校長挨拶

### 3 協議 ← 議長はPTA会長代行に

#### (1) 平成28年度経営報告と平成29年度経営計画について ← 校長より別紙プリントあり

様々な分野で表彰を受けたが、特に陸上部の、しかも団体での全国3位はすばらしい結果であった。今後とも、GLHSの中では、「質実剛健」で「部活動」も頑張る道を進む。他のGLHS校との差別化で生き残る。昨日、GLHS10校の評価委員との面談があったが、そこでも本校は部活動の活発な活動・成果を維持しながら学力保障・進学実績の向上をめざしていくことを話してきた。今年度の大きな改革としては、次年度より①2年次の合唱コンクールを廃止したこと②普通科の類型選択を2年次に引き下げたこと③定期考査を年4回から年5回に変更したことである。次年度以降、①校内情報の共有化を促進するため、「校長通信」を発行する②部活動の21世紀化、つまり短時間で大きな効果を挙げる練習方法の実践をやりたい。府教委へは①評価指標のグローバル大学に神戸大学を入れること、②「探究」が重要であるならば全校全学級文理学科への道筋を、③校舎の建て替えを視野にいれてほしいことを要望している。

#### <質疑応答> ← 以下、○が質問や協議員の方からのご意見、◆が学校からの返答。

○ 大阪市もそうであるが、税収とのからみで、校舎の建て替えはなかなか厳しいのでしょうか。府政の状況が影響するし、首長が変わると行政側の考えも変わる。

◆ 大震災からの影響で各校に耐震工事が入ったことでも、古い校舎の建て替えが遅れたのかも。

◆ 外部状況が大きく変化している。保護者や同窓会員からも色々なご指摘を受けるが時代の変化で苦労しているところ。

○ 学区の変更はやはり本当に厳しい。しくみやシステムがガラッと変更される中で、レベルを維持していくのは大変。外から見て色々とおっしゃる方がいるが、内におられる先生方は本当に大変。今までの伝統をしっかりと維持しつつ、お知恵出しを。

◆ トップ校だったというプライドは大切にしたい。

○ 同窓会々員からはどんな意見がきていますか？

◆ 同窓会誌「至誠」の「卒業生の進路決定一覧」の形式などについては関心が高い。

学校として掲載内容についての問い合わせには答え難い場合がある。

◆ サテライトにある学校は厳しい。しかし、一方で100周年をPTA・同窓会など三者で応援していただいているのは、本当にありがたい。

#### (2) 平成28年度グローバルリーダーズハイスクール (GLHS) 評価シートについて

授業理解度や相互の授業見学などの数値はほぼ目標を達成。しかし、イングリッシュキャンプの満足度は目標に達せず。予算の関係から日数を2日から1日にせざるをえなかったのも、やむを得ないかも。遅刻数や3年の欠席も達成できず。教員の授業は本当に工夫されているものが多い。大学入試の成果もここまでは

ほぼ順調。ただし、国公立の二次はこれからなので、最終結果もこれから。1・2年の英検の結果は良好。評価シートには学校独自の項目と10校共通の項目とがある。「部活動との両立」ができていているという生徒の数値が低く、これを上げていきたい。

○ 評価シートの右端に評価が「A」とかあるのは、これは生徒の評価か？

◆ 校長による自己評価。

○ 生徒たちのアンケート結果でパーセンテージが出ているが、このあたり正確でしょうか？

○ 自己評価ほど難しいものはない。

◆ 子供たちは、真面目に答えてくれていると思う。

○ 「実績の詳細」の欄に、「高い難易度への挑戦授業」という表現があるが、これは具体的には？

◆ 数学・英語などで高度な内容をやらなければ、難関大学入試には太刀打ちできない。これに対応すべき3年生の授業などがこれにあたる。授業満足度とセンターの結果は一致しない。

○ イングリッシュキャンプとは？

◆ 1年生で実施していて、ネイティブの外部講師を招き、6～7人を1班として一日中オールイングリッシュの日を作る。言わば、英語のシャワーを浴びようという試み。

◆ GLHS10校、プラス7校が「骨太の英語力養成事業」の対象校で、予算がつく。本校ではここからイングリッシュキャンプにあてている。年間約40万の予算である。年々予算が削られていて、日数を減らしたり、1班の人数を増やしたりして、ネイティブ講師の数を減らしているの、満足度も下がったのではと思う。

○ この満足度は、どのネイティブ講師にあたるかでも変わってくるのでは？

◆ このような形の事業が乱立気味で、人材も苦しい。SETの事業も3年で終わるので、今後どうするかが大きな課題。

○ はやりで旗揚げして、予算がなくなったら後は学校で何とかしてくれでは、学校が大変ですよ。

### (3) 学校教育自己診断結果について ← 保護者・教員・生徒の分、資料あり

#### <保護者アンケートについて>

保護者にはマークシートと記述でアンケートを実施している。回収率は68%、73通の記述のご意見をいただいた。保護者の多くは学校に対して肯定的だが、いただいたご意見の中では2年次の合唱コンクールが廃止になるのは何故か、それから施設面のご要望が目立った。昨年までとの違いは、保護者のあり方も変わってきているのか、家庭で解決できることを学校に要望されることが増えてきているように思う。

○ 本来家庭ですべきことを学校へと言うことですね。学校としては、保護者の意見・要望をひたすら受けているだけ。

◆ 保護者の情報源は子供からしかない。一面的な情報で判断されると、なかなか客観的な事実が見えない。

PTA等で横のつながり、ネットワークを持ってほしい。厳しい意見・要望は生野では少ないけれども。

◆ 担任はまめに家庭連絡してくれている。誤解がすぐに解ければうまくいくが、時間をおいてしまって誤解が広がることも。学校に電話が繋がらないというご意見をいただくが、休日や時間外は当然フル対応できず、このあたりについては理解してほしい。

◆ すべての学校で8:30～17:00以外は留守電にと要望している。

○ 「学校の様子はよく把握している」という項目も、「Inewsをよく読んでいる」も数値は低い。

◆ 生徒が家に帰ってプリント類を保護者に渡さない、何とかしてほしい、と学校に要望されるが、こまめに生徒に訴えていくしかない。

◆ ベースは家庭教育、それがあつての学校教育。

#### <教員アンケートについて>

全体的には前年に比べて、否定回答率が増加した項目は少なく(17項目)、肯定回答率が増加した項目が多かった(51項目)。肯定回答率の最も高いのは、「この学校の教育活動には、生徒や保護者のニーズにあった特色がある」で95.9%。「学校行事が生徒にとって魅力あるものとするために、工夫・改善を行っている」も89.8%と高い。肯定上昇率が最も高いのが、「この学校では準備室・職員室等、教員の清掃

が行き届いている」で、前年より30.1%も上昇したが、これはやや甘い判断、数字と言える。「人権尊重の教育」も26.3%上昇したが、研修の機会が増えたからだと考える。否定回答率の高いのは毎年「支援学校との交流の機会を積極的に設けている」の項目で、これは実際に交流の機会がないのでいたしかたない。ついで、「指導内容について、他の教科と話し合う機会がよくある」だが、これもそのような時間的余裕はない。否定上昇率で最も増えたのが、「評価のあり方について話し合う機会がよくある」で、20%増えた。これは一昨年度に教務内規の改定を行い、この時には非常に良く話し合い、今年度は落ち着いたからだと考える。

○ このあたりは、単純に数字でどうのこうのではないと理解しています。

<生徒アンケートについて>

生徒アンケート全体では、生徒の学校に対する評価がここ3年で最も高い。特に「向学校性」が例年も高いが今年是一段と高い。逆に、「学習との両立」が57%と低い。

○ 向学校性が高いというのは、一番いいことですね。

◆ 教員評価も比較的高いので、学校生活を概ね肯定し、楽しんでいる。

○ ここが一番大切なところかと思います。先生方のご努力の結果がここで出ていると思う。

#### (4) その他

本年度のまとめとして、協議委員の皆様からご意見を頂戴したいと思います。地域との関わりで言いますと通学マナーに関する地域の方からの苦情が、今年は大幅に減りました。

○ 生野の場合はほとんど苦情は聞いていない。他校では、生徒の方が通学路で逆に文句を言ってくるということも聞いている。小・中・高が同じ狭い道を利用するので、元々大変。

○ 旧校舎最後の卒業生で、移転直後は学校の雰囲気の違いにびっくりしたが、しばらくして来た時に、ほとんどの生徒がしてくれる「あいさつ」の声が新鮮だった。これが今も続いているのが嬉しいし、これからも続けてほしい。学区の移り変わりや撤廃で、大変なことも多いかもしれないが、逆にどこからでも来ることができるようになったし、後輩たちが学校のレベルを上げ、文武両道を実践してくれて、非常に嬉しい。引き続きよろしくお願ひしたい。僕のころより格段に素晴らしい。

○ 3年生の保護者です。やはり最初にびっくりしたのは生徒の元気良いあいさつ。それがしっかり出来ている。これは家庭ではなく学校の力。その他しつけ面もしっかりできていて素晴らしい。当たり前の大切なことをこれからもしっかり続けてほしい。先生方のご尽力、これからも継続してほしい。外部状況は厳しいが、生野の伝統、良さへの思いを持って仕事をしてほしい。

#### 4 閉会宣言

#### 5 事務連絡